

第39回 法人会全国青年の集い山梨大会の報告

令和7年11月21日(金)に第39回法人会全国青年の集い山梨大会が山梨県甲府市で開催されました。1800名を超える青年部会員が現地に集結し、当会からは柾友部会長が参加しました。

記念講演では、(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ代表取締役社長の佐久間悟氏が、「プロヴィンチア(地方クラブ)の挑戦～フットボールクラブの枠を超えた存在と役割～」と題して講演されました。プロサッカークラブ・ヴァンフォーレ甲府を率いてきた佐久間氏がスポーツを通じた地域連携と健康経営の最前線を語った。運動習慣の普及、青少年や高齢者への健康支援、企業と連携した職場の健康づくりなど、クラブが「地域の健康プラットフォーム」としての役割を果たしてきた。人と人、企業と地域をつなぎ、健康を軸に持続可能な社会を築く取り組みは、あらゆる業界に応用可能であり、経営者・組織リーダーにとって実践的かつ共感を呼ぶヒントがここにある。

大会式典は、大木大会会長の開会の辞に始まり、主催者である全法連青年部会連絡協議会大貫会長、全法連斎藤会長の挨拶に続き、来賓の国税庁課税部長、山梨県副知事、甲府市長から祝辞を頂きました。

その後、前日に行われた租税教育活動プレゼンテーション、そして健康経営大賞の審査結果発表があり、租税教育活動部門で最優秀賞を受賞した佐賀県連鳥栖法人会青年部会、健康経営大賞部門では神奈川県連緑法人会青年部会、富山県連富山法人会会員の(株)SUDACHIの事例発表がそれぞれ行われました。

特に、租税教育活動事例では、最優秀賞を受賞した鳥栖法人会が以下の通り発表した。

【租税教室（歴史で学ぶ税の時間旅行）】

- ・租税教室を施すにあたり、より児童の理解を深め、税に対する距離感を縮めるために青年部会でどのような工夫ができるか検討。
- ・地域の特色と租税教室を組み合わせ、税を身近に感じることができる内容を考案。
- ・「歴史で学ぶ税の時間旅行」、「顔の見える税金クイズ」、「今と未来の税を考えるグループワーク」を三本柱として、これまで以上に税の思いやり精神や税を身近に感じることができる教室を開催し、鳥栖法人会の活動の活性化にもつながった。

式典の最後は、山梨県を代表する戦国武将武田信玄が詠んだ「人は石垣、人は城」をもとに人こそが最大の力であり、大切なのはその人との絆であるとする山梨大会宣言が、中沢実行委員長により宣言されました。

今回の青年の集いに参加して、法人会青年部会の活動の柱である租税教育活動の更なる充実と現在もう1本の柱となるべく展開している健康経営の情宣と推進していくことが、法人会青年部会、ひいては徳島県全体の活性化につながるとの思いを新たにしました。